

YACかわら版758

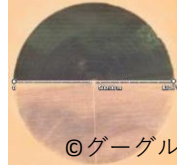
2026年9月19日

NISAR 2

衛星データは、同じ場所を同じ方法で継続的に観測することができます。ESAの2019年5月4日の「エジプトの農作物の輪」掲載の動画は、エジプト南西部のシャルク・エル・オワイナト周辺の大規模農地を追っています。円形農地群が広がっています。③

https://www.esa.int/ESA_Multimedia/Images/2019/04/Egyptian_crop_circles

円形農地拡大 ①



直径500m

2種類の筋
・レコードの溝のような筋
・平行な筋
何だろう！！

1998年1月～2019年3月
(動画より)

2026年8月23日

2026-09-07

ランドサット8-9

マーク位置 (22.3913, 27.9896)

ジャバル・アル・カミル変電所

https://www.esa.int/var/esa/storage/images/esa_multimedia/images/2019/04/egyptian_crop_circles/19334568-1-eng-GB/Egyptian_crop_circles_pillars.gif

偏波のイメージ



④

©JAXA

コペルニクスブラウザ
センテネル2B

センテネル1C

NASA
センテネル2B

センテネル1C

ワールド
センテネル1C

センテネル1C

NISAR

センテネル1C

NISAR

センテネル1C

2026年8月23日

トゥルーカラー

⑤

フォルスカラー

⑥

植生指数

⑥-2

水分指数

緑のこのみ散水

⑦

⑧

⑨

⑩

2026年8月23日

RGBratio

赤: VV
緑: VH
青: VV/VH

VV - decibel gamma0

色合成していません

直下観測

元データは空間分解能10m
ワールドビューでのそれは30m

縮尺:200m

⑦共有URL <https://go.nasa.gov/4Alt627>

植物→緑色 まばらな植物→白か
ピンク 静止水面→黒

植物→緑 まばらな植物→オレンジ・黄 静止水面・乾砂→青

⑧⑨⑩共有URL <https://go.nasa.gov/4xHX6D6>

*⑦～⑩マーク位置 西側:ジャバル・アル・カミルの変電所
東側:シャーク・エロワイナット空港

・NISARデータは運用が始まったばかりです。ジャバル・アル・カミル変電所周辺のワールドビューでの観測データは6月下旬から確認できます。農作物の成長を追う分析は始まったばかりです。

・同じ場所なのに⑨と⑩は一日違いでも大きな差異があります。北上時と南下時とでも大きな差異があります。

・コペルニクスブラウザの、カスタム機能を活用し、RGBへの偏波の割り当てに改めて興味を感じます。

NISARは、魅力たっぷりの衛星のようですね。

ナセル湖西のトシュカ円形農地群はナイル川の水を利用し、シャルク・エル・オワイナトではヌビア砂岩帯水層の地下水を利用します。センターピポッド地下に井戸が設けられています。収穫された農産物は隣接飛行場から消費地に運ばれます。

波長約5.6cmのCバンド電波は、栽培している農作物の表面の凹凸等に敏感です。NISARは波長24cmのLバンド電波を使用します。(ワールドビューで扱っているのはLバンドのみ) 葉等を通り抜けて作物の太い茎や、地面の様子に反応します。トラクターやセンターピポッドの腕の轍(わだち)まで判別できます。

多様なレイヤーの持ち味を活用して、分析を充実させましょう。